

RENEWABLE ENERGY PACIFICO YOKOHAMA 2019

GPSS GROUP PARTICIPATION

7月10日～12日までの3日間、「第14回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」がパシフィコ横浜で開催されました。弊社はこの特別なイベントに出展者として参加致しました。

イベントのハイライト：

- 基調講演者の一人として、GPSS ホールディングスの代表取締役社長である目崎雅昭が、サステナブルエネルギーとESG（環境、社会、およびガバナンス）についてスピーチを行いました。メッセージの中で、これら3つを成功の主な基準/測定値として考慮し、本質的には投資の観点からビジネスに導入する・取り組んでいく必要があることの重要性を強調しました。



- 大好評の「スムージーバイク」
イベント期間中、ブースを訪れた方に、スムージーバイク（写真参照）の仕組みや、弊社の事業とどのような関係性があるのかについて何度も尋ねられました。自転車のメカニズムはとてもシンプルで、電気を必要としません。ブースを訪問される方に、廃棄予定の果物や野菜を使って価値のある商品＝スムージーに変えるというサステナビリティの概念を試して頂きたかったのです。

3日間で少なくとも350杯分のスムージーを提供しました。予想以上に、多くの方々が興味を持って下さいました。

RENEWABLE ENERGY PACIFICO YOKOHAMA 2019

GPSS GROUP PARTICIPATION

- ユニークなブース

パネルの代わりに、5つの大きな壁を使って5つのエネルギー（太陽、地熱、水力、風力、そしてバイオガス+WTP）を表現しました。ブースで、各エネルギーについてのGPSSの現在と未来のビジョンを表と裏に表現しました。右側には、持続可能性を実現するためにエネルギーを組み合わせるという、GPSSの企業概要とモデルタウンのコンセプトを説明する3つの壁を設けました。

- 産経ビズに掲載されました

7月12日（金）発行の新聞に掲載された記事は以下のリンクからも閲覧できます。

<https://www.sankeibiz.jp/smp/business/news/190712/bsc1907120500009-s1.htm>



イベント期間中の スタッフの写真

